



て鐵鋼其の他に關しましての各方面の新しき狀勢を知る事が出来ました事は誠に欣幸の至りであります。深く講演者諸君に敬意を表しますと共に講演中司會して戴きました皆様に厚く御禮申し上げます。

次に御報告申上げ度い事があります、御承知の通り、香村賞は毎年一回贈呈することになつて居ります。本年は今回の大會迄に詮衡が間に合はぬでしたから次回の大會に贈呈する事にならうと思ひます、御含み置き願ひます。

明日からは三日間見學になります、諸君は豫定の通り各工場の御厚意に依つて見學を致されんことを望みます、之で講演會を閉ちます。(拍手)

晚餐會 昭和 11 年 10 月 18 日(日) 午後 6 時開會

會場 福岡市舊柳町 新三浦

今回の晚餐會は現地實行委員方の御心付にて博多名物水たき料理を選定された、先づ金子、井上兩副委員長初め接待委員等は會場へ

先着され出席者を待受け食堂への案内等幹旋至り盡せり、席定まるや會長より一場の挨拶あり續いて寺野實行委員長招待者を代表し一場の挨拶あり相互の健康と共に協會の發展を祝して乾杯す、一同談笑裡に興味湧き互に舊交を温め新知を求め和氣霽々たり。

晚餐會開會の挨拶

日本鐵鋼協會々長 工學博士 水谷 叔彦君

御挨拶申上ます。講演會を終りまして晚餐會を開く事に當りまして……この大會につき殊に御盡力御後援に預りました委員各位、又工場見學を御快諾下されました工場方面の御方並に講演者君に御案内申上ましたところ斯く多數御光臨を得ました事は本會の光榮とするところであります、厚く御禮申上ます。

この度の大會は恰も九州鑛山學會に於ても其例會も同時に當地に於て開かれますにより同會と御相談を致しまして同會の冶金部の講演は本會の講演と合流して昨日と今日に互りて致した譯であります。

又見學も兩方共相互に参加し得ると云ふ相談の下に開きました次第で御座います。この度の大會は出席會員 350 名に達するやうな非常な盛會でありまして洵に欣幸に堪へぬ次第であります。之れは委員長始め委員各位の御熱心なる御盡力と各工場の御後援に依つて斯様な盛況を來たした事と存じます、厚く御禮申上る次第であります。

鐵鋼協會は常に朝野各方面より御援助御後援に領りまして昨今は會員も 2,200 名に達する様な盛況でありまして又連月増員致して居ります、洵に御同慶の至りであります、殊に昨年は鐵鋼に御關係の諸會社の特別なる御後援に預りまして事務所内に始めて圖書室を設け又兼て協會の希望でありました鐵鋼に関する有益なる資料の編纂に着手する事を得ました。會誌にて御報告してあります通り第一着手として鐵鋼要覽の編纂を致す事に定め、俵博士を編纂委員長に同副委員長に河村 驍博士に御願ひしまして着々進行中であります、來年中には刊行の運びになる筈であります又此機會に皆様に申上げて置きますが前會長故野田博士の記念事業が故人の知人に依りて企てられて居ります、この記念事業に寄附を得ました金は或る一部を除きまして殆ど全部鐵鋼協會に協會の圖書の充實、圖書室の整備の爲めに御寄附下さるそう御座います、協會に取りましては此上無い結構なる事でありまして、斯様な次第で我協會も物質方面に於てもだんだん恵まれて参りました、どうぞ會員諸君にはこの上共本會の發展に御盡力下されん事を希望する次第であります。

折角御案内致しましたが萬端不行届であり又御席も不順の處これあるべく恐縮に存じますが平に御寛恕下されましてゆるゆる御寛きを願ひます。又この地方の方々には御迷惑かとも存じられましたが東京方面の方には博多名物のこの「水たき」の方がよからうと云ふ委員の御心入れでこの處に開きました譯であります、どうぞ充分に御歡談を願ひます、之れで私の御挨拶を終ります。(拍手)

挨拶

實行委員長 工學博士 寺野 寛二君

御挨拶申上ます。本夕は私共をこの盛大なる御宴會に御招き下さいまして甚だ恐縮で御座います、厚く御禮申上ます。

本鐵鋼協會は創立以來未だ非常に古くなつて居られないに拘らず益々御盛大で御座います會員の數も非常に多く一寸要録を拜見致しましたが資産その他に於きましても非常に堅實な發達をして居られる事は私共甚だ心強く感じて居る次第であります。今日こちらで大會を御開き願ひまして多數有益なる御講演を拜聽致しました、尙斯界の權威者を始め多數の